



<http://www.nakagawa.ed.jp/esbato/>

- 6年生、ありがとう！（6年生を送る会）
- 立派です！皆勤・精勤
- 三人が税務署から表彰
- 地域の皆さん、ありがとう（花のプレゼント）
- 卒業前に、愛校活動
- 年間多読賞表彰

平成 26 年 3 月 24 日
馬頭小学校
TEL0287-92-2025
FAX0287-92-2029

6年生、ありがとう！

6年生を送る会
2月28日(金)



2月28日(金)、6年生を送る会が開かれました。5年生を中心とする実行委員会が、イベントの企画からプレゼントの準備、会場設営などの準備を行いました。

当日は、校長や児童代表の言葉、在校生からの色紙のプレゼントがあり、6年生からは、御礼として好例の「手縫い雑巾」が後輩へ贈られました。

全体のイベントが終わると、会場は、各学年の教室へ移り、それぞれの学級で準備した催しが行われ（写真左）、最後に6年生と下級生が給食の会食をしました。

皆勤・精勤の受賞者

【皆勤賞】

小口 鈴木 五十嵐

【精勤賞】

荒井 植田 薄井 岡 止部
高野

田澤 成田 藤田 阿久津 薄井
大金 金子 郡司 小滝

立派です！皆勤・精勤

表彰式

3月12日(水)

3月12日(水) 卒業式予行の後に表彰式を行いました。6ヶ年皆勤賞（一日も休まずに登校） 6ヶ年精勤賞（欠席が6日以内）の児童が表彰されました。



三人が税務署から表彰

税に関する絵はがき
コンクール 3月6日



第1回税に関する絵はがきコンクールに応募した馬頭小の6年生が、3名入賞しました。表彰式は、本校校長室で行われ、氏家税務署長等から表彰を受けました。

税に関する絵はがきコンクール入賞者

【税務署長賞】

川上

【氏家法人会長賞】

止部

【女性部会長賞】

荒井

地域の皆さん、ありがとう！

児童会が花のプレゼント

2月27日(木)



登下校の安全や学校の教育活動へのボランティアなど、日頃お世話になっている地域の方々や関係機関の方々へ、感謝の気持ちをこめ、花のプレゼントを行いました。この花は、園芸委員会の児童が中心となり、全校児童で育てた花です。

贈呈先

【学校協力者・交通指導員等】

- ・井面紀子様（水田地主）
- ・佐藤和男様（稲作支援）
- ・江面守正様（交通指導員）
- ・止部洋吉様（交通指導員）
- ・高橋美幸様（交通指導員）
- ・阿部親義様（学校監視員）
- ・山崎 博様（体育館管理者）
- ・スクールバス運転手
- ・読み聞かせボランティア「たまご」の皆様
- ・学校医 ・学校歯科医 ・薬剤師 ・スクールサポーター

【公共施設等】

- ・那珂川町役場
- ・馬頭福祉センター
- ・広重美術館
- ・町立図書館
- ・開発センター
- ・給食センター
- ・CTB 放送センター

人の本当の姿は？

～ 多様な、人間モーツァルトの評価 ～

小学校音楽4年生の鑑賞教材例示の中に、モーツァルト作曲のホルン協奏曲第1番があります。どんな曲か思い出せない人でも、メロディーが流れれば、民放のバラエティー番組の料理登場のBGMでも使われていたので、耳にしたことのある人も多いでしょう。

このホルン協奏曲第1番は、従来、1781年、24歳の時の作曲で、4曲の協奏曲中、最初の曲とされていましたが、近年の科学的研究によれば、最晩年に作られたことが判明しています。そして、彼の自筆楽譜には、「それ行け！バカ」とか、「もっと速く吹け！」「ここは、息をつづけるよ！」等の落書きが書かれていることで有名です。映画「アマデウス」に象徴されるような「天才だが、下品で礼儀しらず」という彼の人間性評価は、まさに、この辺に根拠を得ているようです。

しかし、作曲の背景を知ると、考え方は一転します。この曲は、モーツァルトの長年の友人であり、彼が貧乏で金に困ったとき、いつも親切にしてくれた友人ロイドゲーブというホルン奏者に捧げられたものです。モーツァルトは、前々から彼のためにホルン協奏曲を作曲することを約束していたのです。しかも、35歳で亡くなることになる彼の死期はせまっており、ロイドゲーブも、すでに60過ぎです。ホルンの曲は、変ホ長調で書かれることが多いのですが、高齢となった彼のためにちょっと低いニ長調で書きました。この曲、耳を澄ませてよく聞くと、ちょっと陰のある、夕暮れ時の雰囲気を感じさせます。それは、このニ長調という調性にも起因していますので、この調を選んだのも、特別の理由があったことが想像できます。

こう考えると、譜面への落書きも、世話になった友への親しみや感謝の気持ちが感じられるものとなります。ロイドゲーブも、モーツァルト亡き後は、ホルンをやめて家業のパン屋だけをして一生を終えたそうです。

人の評価は、時代によって異なりますし、見る角度でも違ってくるものです。学校の教員は、子どもを育てる仕事です。育てるということは、同時に子どもの姿をよく見て評価しなければなりません。背景や個々の事情なども理解しながら、本当の姿を見つめていきたいものです。

卒業前に愛校活動

卒業を前に、6年生が愛校活動を行いました。お世話になった馬頭小学校をすみずみまできれいにしようという企画です。普段の清掃では行き届かない場所などを、心を込めて清掃しました。



平成25年度年間多読賞

年間 100冊以上学校の図書を借りた児童13名を表彰しました。

- 2の1・磯野（136冊）
- 5の1・鈴木（134冊）
- 5の1・大森（129冊）
- 4の2・深澤（116冊）
- 2の1・小高（115冊）
- 5の1・大野（113冊）
- 2の1・星（113冊）
- 5の2・茅根（110冊）
- 1の1・岡（108冊）
- 5の2・佐藤（106冊）
- 1の2・齊藤（105冊）
- 5の1・阿部（103冊）
- 3の1・齊藤（102冊）

